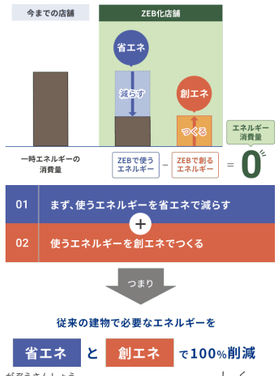
SDGs新聞	株式会社イチケン
エネルギーの使用量をゼロにするZEB（ゼブ）	

SDGsラジオを読んでみよう！

地球温暖化の原因となる二酸化炭素が、私たちが暮らしている身近な場所から出ているって知っていましたか？
日本で排出される二酸化炭素の約3分の1が住宅やスーパー、ショッピングセンターなどの建物から出ているんですよ。
そこで「商業施設建築のスペシャリスト。建設会社のイチケン」が取り組んでいる技術が、
ネット・ゼロ・エネルギー・ビル「ZEB（ゼブ）」。
これは建物全体を省エネにして、建物内で使う電力を太陽光発電などで創り、エネルギーの使用量をゼロにするのをめざす
技術の事で、イチケンがつくる商業施設などにこの「ZEB（ゼブ）」が採り入れられています。
例えば、あるショッピングセンターでは、自動で節電する照明を使い、壁には冷暖房の効率が良い素材を選び、
ソーラーパネルで電力を創っています。
使うエネルギーを減らして、新しいエネルギーを創って、プラスマイナスゼロに。
みなさんの街にも、環境に優しい「ZEB（ゼブ）」の建物があるかもしれません。少し意識して見てみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：「ZEB（ゼブ）」の仕組み
（イチケン公式HPより）

画像参照：「ZEB（ゼブ）」の技術を取り入れた
神奈川県横浜市の商業施設「ビエラ蒔田」
（イチケン公式HPより）

商業施設には、小さなスーパーマーケットやコンビニ、大きなショッピングモールまでいろいろな種類があり、私たちの暮らしを便利に快適にしてくれています。一方で、これらの商業施設から出る二酸化炭素の量はとても多く、地球温暖化の原因になっています。そこで商業施設を中心にさまざまな建物をつくっている「建設会社のイチケン」では、二酸化炭素の量を減らすために、「ZEB（ゼブ）」という環境に優しい技術を採り入れています。「ZEB（ゼブ）」とは、「Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）」の略で、今、環境省や経済産業省などでもこの技術を広めようとしています。

「ZEB（ゼブ）」を実現するには「省エネルギー（省エネ）」と「創エネルギー（創エネ）」の２つの技術が必要です。「省エネ」では、建物の壁を特別な素材にして、外の気温の変化に影響されにくくし、冷暖房の効率を上げます。また、自動で節電する高効率空調や高効率照明を使って、「建物自体」を節電します。次に、「創エネ」では、ソーラーパネルを使って太陽の光から電力を作ります。つまり、「省エネ」でエネルギーの消費をできるだけ減らし、必要なエネルギーは「創エネ」でつくります。これによって、建物全体のエネルギー消費をゼロに限りなく近づけることが可能となり、環境にとても優しい建物が実現します。今社会では、地球温暖化をこれ以上進行させないためにも、この「ZEB（ゼブ）」への関心がますます高まっています。

キーワード

地球温暖化

地球の空気には二酸化炭素などの温室効果ガスがあります。これらのガスが増えると、地球の気温が上がります。この現象を「地球温暖化」と言います。

高効率空調

小さなエネルギーで大きな空調能力を引き出せる空調設備のことで、電気代を削減できます。

高効率照明

LEDなどの小さなエネルギーで、蛍光灯と同じ程度の明るさを持つ照明のことです。

対象ゴール

みなさんにできること！

「ZEB（ゼブ）」の仕組みについて理解したうえで、周りの人たちにも教えてあげましょう。

おさらい

- イチケンでは、「ZEB（ゼブ）」という環境に優しい技術を採り入れた建物をつくっている。
- 「ZEB（ゼブ）」とは、「省エネ」と「創エネ」で、エネルギーの使用量をゼロにすることをめざす環境にやさしい技術。
- 地球温暖化の対策として、「ZEB（ゼブ）」をさまざまな建物に採り入れていくことが大切。

メモ

SDGsラジオ